



学校教育目標「考えを深め会い、夢に向かって挑戦する待鳳の子」

●よくあてはまる ●大体あてはまる ●あまりあてはまらない ●あてはまらない

←肯定的 | 否定的→

子どもは日常のいろんなことに「なぜ?」「どうして?」などの疑問を感じることが多い



子どもは知りたいことについて、よく自分で調べたり考えたりしている



保護者

子どもは自分の考えをおうちでよく話している



子どもが自分の考えを話すときは、その理由まで話すようにしている



子どもは家族や人の話をよく聞いている



子どもは相手を大切にした言葉づかいをしている



子どもは自分と違う意見や考えも大切にしている



子どもは自分の考えと比べながら人の意見や考えを聞いている



アンケートの項目を更新しました 今年度より、アンケートの項目をより「学校教育目標（育成をめざす資質・能力）」に沿った形に変更しています。

*育成を目指す資質・能力

- ・自分事として考える力
- ・「自分たちで」「自分たちが」考えて行動する力
- ・人と関わり合って、考えを深める力
- ・失敗を恐れず挑戦する力
- ・体験・経験を知識と結びつけて考える力
- ・自己をふり返り、次に生かす力

下半期 保護者アンケート結果

グラフの左端（濃い部分）が肯定的なご意見（よくあてはまる、大体あてはまる）、右端に行くにつれて、否定的なご意見（あまりあてはまらない、あてはまらない）となっています。

肯定的な意見が目立つ項目としては、前期と同様、「子どもは日常のいろんなことに「なぜ?」「どうして?」などの疑問を感じることが多い」「子どもは自分の考えをおうちでよく話している」「子どもは自分には長所があると感じていると思う」「子どもは人の役に立つことが好きだ」などが挙げられると思います。「役立つのが好き」な子どもが多いという結果や、「長所」を実感できている子どもが多いことも、学校教育目標に照らして、子どもたちのすこやかな成長を感じます。結果的に上半期と比べ、若干増減はありましたが、**大きな変化はみられませんでした**。また、上半期と同じく「自分で計画を立てている」という項目が最も肯定的な意見が少なく、依然として課題と言えます。

12月にすぐるで配信した学校評価へのご協力ありがとうございました。上半期に引き続き、多くの保護者の方からご回答いただき、うれしく思います。いただいたアンケートの回答をもとに、来年度に向けての学校づくりの参考にさせていただきます。上半期の結果と比較しながら分析を加えましたので、どうぞ一読ください。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

←肯定的 | 否定的→

子どもは「なしとげたい」とか「こんなになりたい」などの夢や目標をもっている



子どもはめあてや目標を実現するために、自分で計画を立てている



子どもは失敗を恐れずいろんなことに挑戦しようとしている



子どもは一度うまくいかなくともすぐにあきらめず、また挑戦しようとしている



子どもは自分のしたことを振り返り、次に生かそうとしている



子どもは自分自身に満足している



子どもは自分には長所があると感じていると思う



子どもは人の役に立つことが好きだ



なぜ、「自分で計画を立てる力」が必要なのか

本校6年生の子どもたちは家庭学習で、「**自由選択学習**」に取り組んでいます。この課題は、自身の力を振り返ったときに必要とされる学習や、先のテストに向けてやっておくべき課題を自ら選択し、取り組む家庭学習です。習い事などで取り組んだ学習でもOKとしています。

また、様々な学年で、「**自由進度学習**」にも取り組みました。単元の学習に取り組む計画を自分で立て、決められた期間内に自ら課題に取り組みます。分からぬところや深めたいところは、教員への質問やGIGA端末での検索、ヒントカードなどを手がかりに、自分で課題解決をはかります。

教員の授業準備や子どもたちへの指導の仕方については課題もありますが、子どもたちの学習中や事後のコメントから、「自分のペースで進められるのがうれしい。」「『がんばろう』という気持ちになる。」という声が聞かれます。

このような取組はまだ試験的なものではありますが、今後学校体制として積極的に取り組み、子どもたちのプランニング能力、自己理解能力（メタ認知力）、主体性をどんどん高めていきたいと思っています。

6年生の子どもたちもいよいよ卒業し、中学校へと進みます。よく「**中学校は宿題がない?**」とまことしやかに語られますが、そんなことはありません。時期によっては小学校以上に家庭学習課題が課され、提出の有無や内容は成績に直結します。課題の内容は各教科から口頭で伝えられることも多く、また、提出期限が「3日後の次の授業まで」というように、取り組むことに計画性を求められます。小学生のうちから、「**自分で計画を立てる力（プランニング能力）**」の素地を培う必要があるのです。（裏面へ）

●よくあてはまる ●だいたいあてはまる ●あまりあてはまらない ●あてはまらない

←肯定的 | 否定的→

いろんなこと「なぜだろう?」「どうしてだろう?」とよくおもいますか



しりたいこたえをすぐにほかのひとにきかずに、じぶんでしらべたりかんがえたりしていますか



じぶんのかんがえをひとにつたえることはすきですか



児童

じぶんのかんがえをはなすときは、りゆうまではなすようにしていますか



せんせいやともだちはなしをよくきいていますか



あいてをたいせつにしたことばづかいをしていますか



じぶんとちがういきんやかんがえもたいせつにしていますか



じぶんのかんがえとでいたり、ちがつたりするところをくらべながらともだちのいきんやかんがえをきくようにしていますか



(表面の続き)

尚、「自由選択学習」「自由進度学習」で大切なのは、「めあての設定」と「振り返り」です。今までの学習でも意識的に取り組ませていましたが、自分を客観視し、今必要とする学習を自ら判断すること、そして、主体的に取り組むことが、子どもたちの力や学習意欲を高めることにつながります。これからも、GIGA 端末を有効活用しながら、よりよいプランニングの仕方、振り返りの仕方を模索していきたいです。

児童アンケート結果

例年のことではありますが、結果としてはどの項目についても若干の減少が見られました。残念ながら、「伝えることがすきか」「計画を立てているか」「自分のことが好きか」という設問で、5 ポイント前後減少しています。この結果については重く受け止め、夏休み前にもっていたやる気をさらに高められるように、取組を継続させたり、指導の仕方を工夫したりしていきたいです。また、アンケートの実施時期についても見直し、年度初めと 3 学期に実施するなど、より正確なデータが得られるよう、検討していきたいと思います。

ただ、減少はみられるものの、すべての項目において高い水準を保っていることには変わりありません。「話を聞く態度」や「人の役に立ちたい思い」などの設問結果については、待鳳の子たちの誇らしい部分だと言えます。ゲストティーチャーで来られたり関わったりされた地域の皆様からも、「本當によく話を聞いてくれる。」「立ち番をしていても元気に挨拶したり手を振ったりしてくれる。」と、いつもお褒めの言葉をいただきます。

来年度は、「めあてと振り返り」の大切さを子どもたちに継続して伝えるとともに、新しい形の授業形態にも積極的にチャレンジすることで、子どもたちの主体性や意欲をどんどん引き出せるよう、学校体制として取り組んでいきたいです。

「こんなことをやりたい」とか「こんな人になりたい」などのゆめやもくひょうはありますか

←肯定的 | 否定的→



めあてやもくひょうをじつけんするために、じぶんでけいかくをたてていますか



しつぽいをおそれず、いろんなことにチャレンジしようとおもいますか



いちどうまいかなくとも、あきらめずにまたチャレンジしようとおもいますか



じぶんのしたことをふりかえり、つぎにいかそうとしていますか



じぶんのことはすきですか



じぶんにはちょうしょがあるとおもいますか



ひとのやくにたつことをしたいとおもいますか



保護者自由記述欄について

保護者アンケートの自由記述欄で、多くのご意見をいただいております。すべてを紹介することは難しいため、いただいたご意見をコンパクトにまとめ、カテゴライズしてお示ししたいと思います。

学校行事について

- ・スポーツを、以前の運動会の形で続いていることがありがたい(3名ほど)
- ・学校の様子を知れる行事(授業参観 等)がもう少しあつたらうれしい。
- ・学習発表会で、子どもたちの頑張りを見られたのがよかったです。

宿題について

- ・もっと自由に子どもたちが課題を選択できるようにしてほしい。
- ・宿題の在り方について、学年でばらつきがあるように感じる。
- ・(子どもが)いやいや取り組み、時間がかかっている。

その他

- ・持ち帰りの荷物が、依然多い。
- ・子どもがスマホを家で見てばかりいる。デジタル化が進むのはしょうがないが、家のルール作りが難しい。情報モラルやルールについて学校でも伝えてほしい。

貴重なご意見をありがとうございます。すべてのご意見に添えられるわけではありませんが、持ち帰りの荷物の対応や宿題の在り方、情報モラル教育の充実などについては、学校としても問題を整理し、対策をしていきたいと考えております。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いします。